

## 「幼児教育」

### —Childhood Education—

これは、米国における幼児教育関係の月刊雑誌としてほとんど唯一のものであって、ワシントンにある国際幼児教育連盟から出版されている。すでに四〇巻を重ねており、さらにそれ以前にもその前身としての歴史をもっている。幼児教育関係の専門

誌として世界的に定評のある雑誌である。

幼児教育に関係する諸学問の最新の知識をよく消化して、現場の教師にむくように編集されている。その点では、たんに米国の雑誌というよりも、世界的に通用する雑誌である。名称は Childhood Education であって、必ずしも幼児教育という訳はあたらない。事実、内容には、小学校五、六年生までの記事もふくまれている。しかし、中心としてねらっているところは幼稚園期であり、もともと幼稚園の雑誌として始まったものである。幼児教育は、英語では、Early Childhood Education であり、この雑誌の読者は、ナーサリースクール、幼稚園、小学校低学年の教師および教育関係者が大部分であるから、一応、幼児教育と訳しておいた。読者の中にもすでに多くの方がこの雑誌のことは知っておられると思うし、また読んでおられる方もあると思うが、読む機会のない方のために、この紙面できき紹介することにした。

一九六四年一月号は、「確かなものを求めて」という題の特集である。ちょうど前年の暮にケネディ大統領暗殺の事件があったので、ケネディの教育に関するメッセージの引用から始まっている。そこでは、教育は自由と進歩の鍵をにぎるものであることから説きおこして、すべての米国人がその能力を最大限にまで発揮させるために、教育の機会と刺激を増加させることが強調され、政府は、市民の年令、人種、宗教、収入、教育の差にかかわらず、すべての市民の潜在能力を伸ばすためにプログラムを立て、予算をさくことがべられている。(一九六三年、一月二十九日の教書より)

巻頭論文では、主題テーマが解説されている。人は確実なものを得るときに幸福である。教師も身分が確かであり、受持の児童数も少なく、伝統と過去の経験に頼り、親や校長の希望に適応し、既存の秩序や權威に服従してゆくときには、安定し、幸福

である。たしかに教師は過去の文化的遺産を次の世代に伝えてゆく。しかし、このような、確実なものの求め方には危険がある。古いもの、すでに確立されたものは、新しいもの、未知のものとの敵である。好奇心があり冒険心のあるところから学習がはじまる。まして、世界と人生は、恐怖、不安、失望に満ちている。教師は、この世界の事実を無視してはならない。確かでないもの、未知のものこそ、科学者の研究をそそり、実業家の冒険心を誘うものである。

この不確かなものの中にこそ、創造的な力が発揮される場合があるのだ。教育者は、子どもに人生を与えることもできるし、また人生を奪うこともあるのだ。

メアリーランド大学児童研究所長モルガン教授は、「未来のための選択」と題して、未知の未来のために考慮すべき点を論じている。そこでとり上げられていることの一つに、知能テストや学力テストがある。その得点は、科学的には決して絶対と

言えないのに、それが確実なものと思いつつむとところに誤ちが生ずる。たとえば、知能検査だけで優秀児を選択しようとする、創造的な潜在能力をもつ児童の七〇パーセントは見逃されるのである。また、知能テストの結果によって、同じ程度の得点の子どもで学級編成をしているところがある。そこには同じ程度の能力の子どもが集まっているのだから、同じ内容のことを、同じ方法で、同時に、同じ材料で、同じ期待水準をもって教えることができると考え、これが科学的な、確実なやり方だと考えるならば、そんなばかげたことはない、と断ずる。そこでは個人の独自性は無視されている。

ホール教授は、「未知のものを追求して」という題で、人は有限のものをなすとげたときにもっとも満足するのではなく、無限のものを求めて進みつつあるときに満足するのであることを強調している。その他、同様の趣旨の論説が続いている。

二月号は、「芸術―人生の一つの道」という特集である。この号では、まず芸術教育協会の会長マティル教授が「子どもと芸術」という題で論説を書いている。4才のシャロンは、道ばたにいっぱいにチョークで複雑な線をかいている。ある人はこれをして子どもの幻想という。ある人はそれを子どもの実存の世界という。ともかく、それはすばらしい芸術だ。しかし、シャロンが道ばたを全部チョークでぬりつぶすのには寛容な母親が必要だ。いや、シャロンの創造の衝動を認めてくれる賢明な母親が必要である。家庭でも学校でも同様である。その他、「創造的な手技」「音楽、リズム表現」「文学を通しての芸術」「好きな文学書の回顧」というような論説が載っている。

(T)

[Childhood Education, Association For  
Childhood Education International, 3615  
Wisconsin Av. N. W. Washington,  
D. C. 20016, U. S. A.]